

# 公正で明朗な人事発令を



## 生活本拠地尊重の配転運用を ストップ遠距離・長時間通勤

予告・発令・着任と毎年繰り返される定期異動風景―昇任・昇格要求は踏みじられ、「公務の要請」の名の下に、遠距離通勤や転居、単身赴任を強いられる職員は後を絶ちません。職場全体の差別・選別人事を強行する「テコ」として、全国税組合員に対する差別人事も続いています。

「明るく働きがいのある職場」「風通しの良い職場」にするため、長官・局長・署長交渉や要請行動等を通じて、7月人事発令で以下の要求を実現するよう求めていきます。

- 昇任・昇格等に関する要求
  - 1 学閥・局閥特権人
  - 2 地域間・事務系統間
  - 3 情実・派閥・金権人
  - 4 格差、年齢・職種・男

- 1 昇格：普通科46期・国専22期・昭和56年採用以前。
- 2 4級昇格：普通科49期・国専25期。
- 3 3級昇格：普通科55期・国専31期以前。
- 4 2級昇格：普通科60期
- 5 当面、次の基準を充たした者全員を昇格させること。
- 6 降格人事は国家公務員法に従い、「本人希望」等の安易な運用は行わないこと。

- 配転に関する要求
  - 1 事前打診・内示制度を確立し、①配転は事前本人に打診し、本人の納得のもとで行う、②事前打診は発令の3カ月前に、内示は1カ月前に行う、③内示後、苦情処理機関を設け、妥当な苦情に対する是正措置を保障すること。
  - 2 本人希望の尊重と、配転に関する諸運用基準について、当面以下のよう改善すること。

- 女・所属組合差別を根絶すること。
- 3 誰もが定年退職を6級以上で迎えられるようにすること。
- 4 青年間差別をやめ、「若い内の差は好ましくない」姿勢を守り、同期同時発令を行うこと。
- 5 当面、次の基準を充たした者全員を昇格発令すること。

発行所  
東京都千代田区霞ヶ関  
財務ビル内(〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 岡田 俊明  
電話 (03) 3581-3678  
FAX (03) 3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”  
何でも110番  
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

◇全国税ホームページ◇  
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

以前、  
⑤特研生：賃金格付けを是正し、普通科と同等の昇任・昇格発令を行うこと。



## ともに手を携え、人間らしい労働のルールをうちたてよう

第79回メーデー 広がる共同

「なくせ貧困!」「ストップ改憲、増税・医療改善!」「国民本位の政治を実現しよう!」。メーデーの5月1日、東京・代々木公園で開かれた全労連などによる第79回中央メーデーに参加した全国税組合員の唱和が青空に響き渡りました。

地方でも全国357カ所でメーデーが開かれ、組合旗を掲げ、横断幕・プラカードを手にした組合員は良い汗をかき、元気に行進しました。

詰碁

【出題】九段 石榑郁郎  
黒先  
ヘント 黒1、3の好手順で、タメツマリにして仕留めます。  
(10分で二、三段以上)

新幹線の旅。眠りを誘うため「米国はどこで道を誤ったのか」を手にとった▼企業は経営者の利益のために経営され、機関投資家は長期的投機を疎かにし、ファンドマネージャーも売人になり下がった―米国資本主義がいかに変質したかを分析し、「資本主義の伝統的価値観である誠実、信頼」を取り戻すための戦いを説く▼社会的に有用な生産活動から離れ、社会を食いものにす、活力・健全さを失って内部から腐っていく「体質」を、「魂を取り戻す」ことで変えられるのか▼(睡魔の中)地球温暖化に危機感を燃やす欧州資本主義からは、新しい枠組みや社会体制も視野に「限度」まで挑戦する意気込みが伝わる。この温度差は…。

## 働きがいと誇りを感じられる職場へ あなたの加入を大いに歓迎します

今年の確申期は、お疲れ様でした。職場の様子はどうですか。昼休みの確保も十分できず、e-Taxの普及競争に煽られ、超勤地獄が際限なく広がり、健康被害も広がりました。職員の犠牲で乗り切った確申期でしたね。21年夏には内部事務一元化の全国化が予定されていて私たちが働く国税の職場が大きく変えられようとしていることは、あなたも実感していることではないですか。

自らの保身を優先し、トップダウンを丸

り、仕事をきちんと教えたい、教わりたいたい、思ってもゆとりもなく、仕事を続けていく上での誇りや働きがいがかたくなに感じられないようになっていませんか。上意下達ではなく差別やいじめのない、働く仲間として何でも

自由と民主主義、正義と良心が尊ばれる職場でなくてはなりません。あなたの力でその一歩を拓きませんか。なにより自身の生活と仕事を充実させるためにも、私たちはあなたの全国税加入を待っています。

話し合える民主的な職場が今こそ求められていると思いませんか。そのような役割を果たすのが労働組合です。国税当局とも真正面から議論し職場の要求をぶつけ解決する力を持っている組合が全国税です。国民に信頼される税務行政の確立のためにも



写真右上・埼玉メーデー／上・新潟メーデー／左・大阪メーデーで行進する組合員



①生活本拠地を尊重した配転運用とすること。  
②単身赴任をなくすること。当面、赴任期間を原則1年間とすること。  
③遠距離・長時間通勤はなくすること(各局で職員が納得いく基準を設定し、遠距離通勤が長時間通勤のいずれかが基準以上の場合の発令はやめる)。  
④子弟の育児・教育期間に最大限配慮し、厳守すること。  
⑤介護の責任を持つ職員については、希望を最大限尊重すること。





オホーツクの遅い春が今年も駆け足でやって来て、例年より早く桜が満開になった連休最終日、平和行進の出発式と行進

「9条大」と平和行進

「半世紀の伝統を受け継ごう」と5月6日、50周年を迎えた08年原水爆禁止国民平和行進がスタートしました。東京・江東区の夢の島(東京―広島コース)と北海道・礼文島(北海道―広島コース)から2コースが出發しました。今後、全国11幹線コースと各地の網の目の行進が繰り広げられます。全国税組組合員はOB組合員と行進しています。最北端の島・礼文町の町役場前を出発した齊藤さんから次のメッセージが届きました。



が行われ、「9条だいたすき」のゼッケンをつけた愛犬ハナと一緒に参加しました(写真・左)。連休中で参加者は少なめで

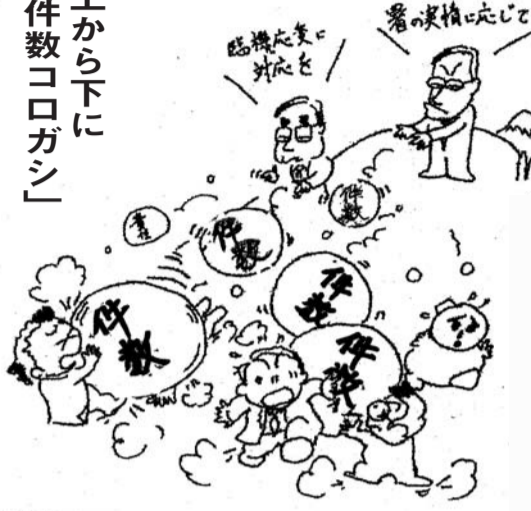
したが、毎年「旗」を通しての全労働や全気象の仲間たちの姿もありました。出発式のリレートークで全労働の行進者が言った、「戦時中、職安は兵器工場に少女たちを送り込む役目を担った。決して繰り返してはならない歴史」。私も思った、「戦費調達のための徴税強化など元談じ



今年、憲法記念日の新聞各紙の世論調査も「9条」を変えることに「反対」の声が高まっていることを伝えていきます。イラク派兵の「違憲」判決で「9条」の存在感が増しています。この流れをもっと確かなものにしてほしい。核廃絶と平和への願いを束ねて、50回目の平和行進が、今年も長崎・広島へ向け出發しました。網走分会 齊藤道子

ゆとり、誇り持てる仕事に転換を  
—老朽・狭隘庁舎の改善も待ったなし—

上から下に  
「件数コロガシ」



税務署の現場は年々忙しくなり、慢性的な超勤も出ています。昼休みは短縮され、勤務時間が延長されこともあり、職員の疲労は心身ともに高まっています。庁舎の老朽化・狭隘化もあり、執務環境は悪く、安心して休憩する場所も確保されてはいません。平成21年度に全国化されようとして

- ① 事務計画策定にあたっては、増差件数主義を排し、ゆとりある事務運営の確立、署の実情に即した施策など、現場の判断を尊重すること。
- ② 若手職員を「促成栽培」的にはせず、ゆとりをもつて育成すること。
- ③ セクハラ、パワハラ根絶のための措置を徹底すること。

■調査・徴収および内部事務に関する要求

- ① 増差・件数・不正など計数管理強化につながる計画策定や、事務運営手法を採用しないこと。
- ② 調査件数は削減すること。特に、法人税部門に配置された若手職員の件数は大幅に削減し、指導・育成を主眼においた調査内容とすること。
- ③ 準備調査を十分に行える調査日数を確保すること。
- ④ 統括官の調査日数を

増やして、全体の件数を増やすなどの「抜け道」を許さないこと。

■相談官・相談室および相談業務に関する要求

- ① 相談室分室の廃止および相談官の集中配置はやめ、もとの体制に戻すこと。
- ② 全署に複数の相談官を配置すること。
- ③ 内部事務一元化部門

「第47回全国税 山のつどい」のお誘い

昨年の赤石岳山頂でのスナップ

今回は将基頭山(2,700m)・三ノ沢岳(2,846m)をピストンし、駒ヶ岳(2,956m)や宝剣岳(2,931m)を望むこととしました。稜線は絶景、コマクサ等の高山植物を存分に楽しむことができます。2日間の山行ですので2泊目は下界に降り、宿で山の仲間と交流を深めることとします。

山行日程

第1日 8月2日(土) 千量敷―宝剣山荘―駒ヶ岳―将基頭山―駒ヶ岳頂上山荘(泊)

第2日 3日(日) 頂上山荘―宝剣岳―三ノ沢岳―極楽平―千量敷 ロープウェイ・バスにて菅ノ台を経て国民宿舎「すずらん荘」(泊) 4日(月)朝、解散。

※参加費 22,000円程度(2泊実費)

から「一般相談」を含めた納税相談事務を切り離すこと。(中略)

■確定申告期事務に関する要求

- ① 新規施策は十分な余裕を持って施行することとし、間に合わない場合は次年度に回すこと。
- ② 確定申告の昼休み業務は行わず、休憩時間

は確実に保障すること。

- ③ e-tax普及のための無理な施策はやめること。審査要員を減らすことなく、相談要員を確保すること。タッチパネルは廃止しないこと。
- ④ 超過勤務とならない事務計画を策定し、人の配置を十分に行うこと。また、非常勤職員や派遣職員を雇用する場合は十分な研修を行うこと。
- ⑤ 心身両面にわたる健康最優先の事務計画とすること。「立ちっぱなし」という労働形態は確定申告期事務から完全に排除すること。
- ⑥ 「日曜開庁」はやめ、休日開庁・出勤の拡大は計画しないこと。
- ⑦ 職員の健康面や納税者サービス面から問題がある「巡回指導」「個別・資一体指導」はやめ、「対面相談」方式とする

こと。

【全国税本部】

14日午後6時、「匿名での相談になるが」との前置きで電話があった。「私は診療所で指導

区分を受けているのに、統括官から来月調査をやってくれ、お前の指導区分は来月には外れるだろうからと言われた。こんな統括官は許せない、法的にも問題があるのでは。件数、件数で現場の尻をたく局署幹部も許せない」と怒り心頭で、「総務課長にこの話を

ハラスメント幹部

【北海道地連】

職場にはパワハラ・セクハラが蔓延しています。組合に寄せられたハラスメントを紹介しています。

■職員を「呼び捨て」「お前」呼びわりしている幹部。

■女性職員・非常勤職員に故意に体を触れる統括官。

■自分の利となれば下の意見は聞かないでゴリ押しする統括官。

■仕事が早く終わると「本当に見たのか」と本人の能力を否定するよつなことを平気で言う統括官。

■うまく行ったら自分の手柄、行かなければ担当者。「自分の計画通り」と事実さえ曲げる統括官。

■職員に「体重を減らせ」と発言して憚らない幹部。

■権力差を背景に人格と尊厳を傷つける言動は許されません。

お疲れさんの言葉もなく、「あれはどうした、これは見たか」など細かいことばかり言う同行してくれと頼んでも絶対行こうとしない。今日も暗い声で「あれは調べたか、これはどうなった」とグチャグチャ言うので「そんなに言うんやったらどこをどう見たらいいのかわせてくれ」と聞いたが何も答えな

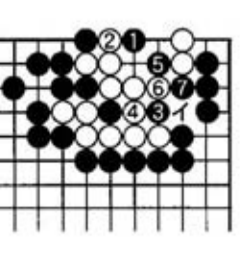
「そんな言ったらどこをどう見たらいいのかわせてくれ」と聞いたが何も答えな

「そんな言ったらどこをどう見たらいいのかわせてくれ」と聞いたが何も答えな

「そんな言ったらどこをどう見たらいいのかわせてくれ」と聞いたが何も答えな

詰 碁

【解答】黒1、3が大切な手順。白4は黒5、7でタメツマリになり白死です。黒1で先に3は白4黒1白7で失敗。白7で7なら黒2白1黒4で白死です。



お疲れさんの言葉もなく

【近畿・南大阪支部】

調査から帰っても